

2007年1月31日

2007年度 ダイキンルームエアコン

**オンリーワン技術の「うるる加湿」を床置形に新搭載、足もとから暖かい理想の暖房を実現  
床置形ルームエアコン『うるるとさららフローア（VRシリーズ）』新発売**

ダイキン工業株式会社は、足もとから暖かく暖房ができ、お手入れが簡単なことで好評の床置形ルームエアコンに、当社オンリーワンの技術である「うるる加湿」を新搭載し、空気質にもこだわった『うるるとさららフローア（VRシリーズ）』と『フローア（Vシリーズ）』2シリーズを2007年5月1日より発売します。

**新商品の特長**

**1. 当社オンリーワン技術の「うるる加湿」で冬場の乾燥を解消（VRシリーズのみ）**

屋外の空気中の水分を集めて室内に送り込み、わずらわしい給水の手間なく加湿ができる当社オンリーワン技術「うるる加湿」機能を搭載。足もとからのしっとり気流で、乾燥を感じさせない、うるおった暖房を実現します。この高い湿度状態は、体感温度の上昇にも効果があります。

**2. 足もとからの気流の向上で暖かい暖房空間を実現**

床置形ルームエアコンの特長である上下2つの吹出し口からの気流配分を改善。足もとからの暖房をより快適にするために、下側から吹き出す風量配分を45%（従来機：40%）にしました《図1、2参照》。また、暖房能力<sup>\*1</sup>も向上させ業界トップクラスを実現しました。

**3. 業界初<sup>\*2</sup>のフラットパネルの採用でインテリア性と使いやすさを向上**

新型「3D翼形状薄型ターボファン」の搭載により、業界で初めて本体前面にフラットパネルを採用し、見た目をより薄く美しいフォルムに一新しました。また、飾り棚や壁との一体感を持たせることができる半埋込設置（露出部分：わずか11.5cm）にも対応しています《図3参照》。さらにフラットパネルの採用で、お手入れもさっと一拭きと簡単になりました。

**4. 業界トップクラスの省エネ性で、11年前に比べ電気代を約30,500円節約**

当社独自の「スイングコンプレッサー」「リラクタンسDCモーター」を搭載し、業界トップクラスの省エネ性（4.0kWクラス、冷暖房平均COP3.81）を実現。

11年前の当社従来機（S406VXV）に比べ、期間消費電力量で約43%<sup>\*3</sup>、電気代で約30,500円<sup>\*4</sup>の節約を可能にしました。

**価格・発売時期**

シリーズ名	機種名	能力クラス	加湿量(ml/h)	希望小売価格(税込)	外径寸法(mm)	発売予定時期
VRシリーズ	S28HVRV-W(T)	2.8kW	500	378,000	室内:高さ600×幅700×奥行210 室外:高さ675×幅765(+63)×奥行285	2007年 5月1日
	S36HVRV-W(T)	3.6kW		425,250		
	S40HVRV-W(T)	4.0kW		477,750		
	S50HVRV-W(T)	5.0kW	600	572,250		
	S56HVRV-W(T)	5.6kW	650	682,500		
Vシリーズ	S28HVW-W(T)	2.8kW	/	336,000	室内:高さ600×幅700×奥行210 室外:高さ550×幅765(+63)×奥行285	
	S36HVW-W(T)	3.6kW		383,250		
	S40HVW-W(T)	4.0kW		435,750		
	S50HVW-W(T)	5.0kW		530,250		
	S56HVW-W(T)	5.6kW		640,500		

※1 外気2℃時の定格暖房能力

※2 2007年1月31日現在 床置形ルームエアコンについて

※3 日本冷凍空調工業会規格（JRA4049）に準拠、S40HVRV-Wの場合（3,206kwh→1,822kwh）

※4 電力料金目安単価22円/kWhで算出、S40HVRV-Wの場合（70,600円→40,100円）

## 開発の背景

1

クリーンで安全かつ省エネであるヒートポンプ式ルームエアコンは暖房器具としても見直されており、中でも床置形ルームエアコンは、足もとから暖かく、お手入れのしやすさなどからも好評をいただいています。また近年では、冬場の加湿に対するお客様のニーズが高まってきており、当社では、暖房時の乾燥を解決する給水いらずの「うるる加湿」というオンリーワン技術を搭載した壁掛形ルームエアコン『うるるとさらら (Rシリーズ)』を7年前より発売しています。

そこで当社は床置形ルームエアコンに「うるる加湿」を搭載し、足もとからの暖房とうるおいを組み合わせることで、より快適な暖房空調を実現するルームエアコンを開発いたしました。

## 主な機能一覧

	VRシリーズ	Vシリーズ	機能説明
うるる加湿	●	—	空気中の水分を室外機から取り込み、室内を給水不要で加湿する機能
さらら除湿 (再熱除湿)	●	—	冷えすぎを抑えるために、温度を下げずに除湿する機能
カビショック運転	●	—	室内を短時間で一気に除湿することで、部屋のカビの発育を抑制する機能
給気換気	●	—	新鮮な空気を部屋に取り入れる換気システム (換気扇としての型式適合認定を申請中)
光触媒空清フィルター	●	●	タバコ、ペットなどの生活臭、細菌・ウイルスを強力に除去するフィルター※5
快眠運転	●	●	室内温度をコントロールし、深い睡眠量の増加と快適な目覚めを作る機能
うるる快眠	●	—	快眠運転に湿度コントロールを加え、肌やノドの乾燥を抑える機能
内部クリーン	●	●	冷房、除湿運転終了後に熱交換器を暖めて、カビの繁殖原因であるエアコン内部の水分を蒸発させる。VRシリーズはさらにファンで屋外に排出
除菌・防カビ熱交換器	●	●	塗料の中に練りこまれた除菌・防カビ剤が溶け出すことでカビ・菌の繁殖を抑制する熱交換器

※5 試験機関：(財)日本食品分析センター 測定方法：抗菌試験、試験成績書発行番号：第202091340-001号

図1 気流分布 (暖房時)

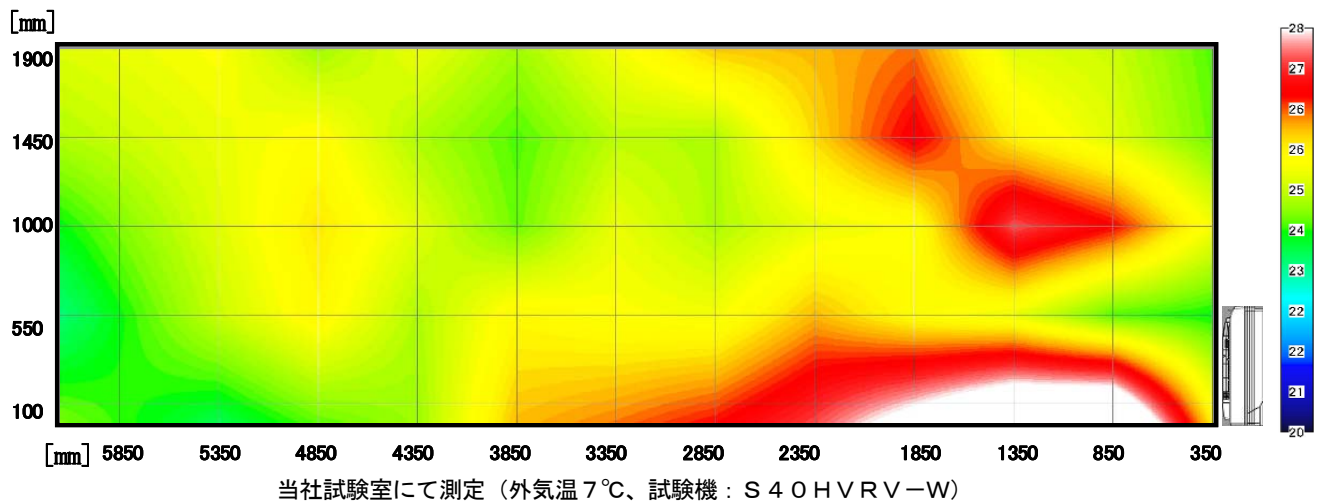


図2 吹出し口の風量配分 (暖房時)

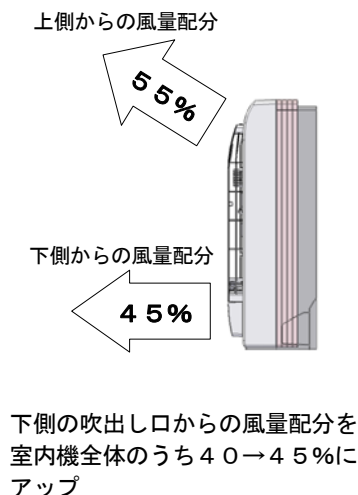
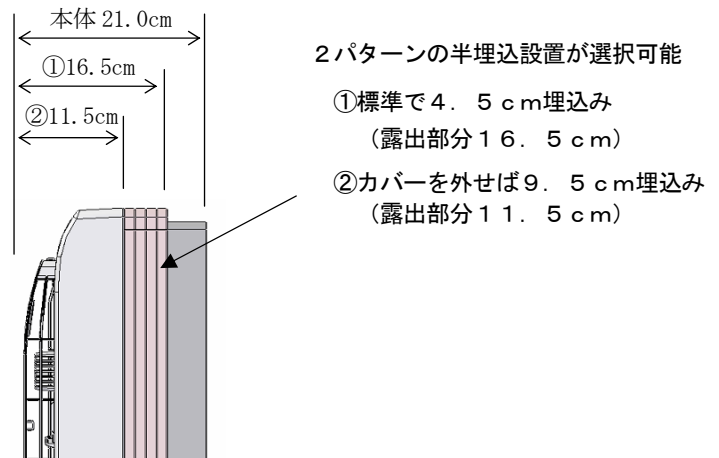
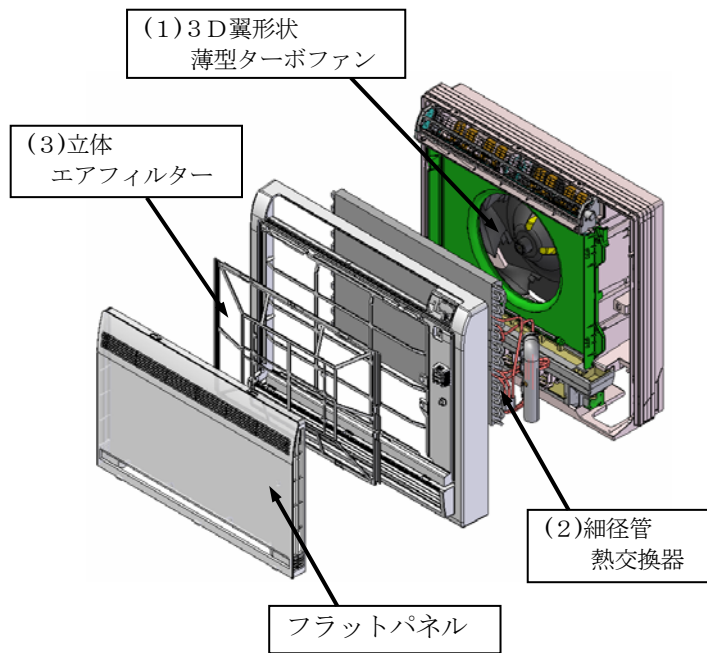


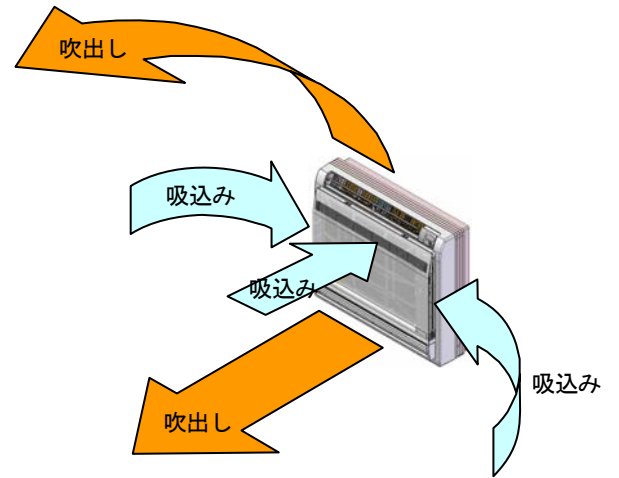
図3 半埋込設置時の寸法



## 優れたデザイン性(フラットパネル)と高い基本性能(省エネ性・静音性)を実現させた技術



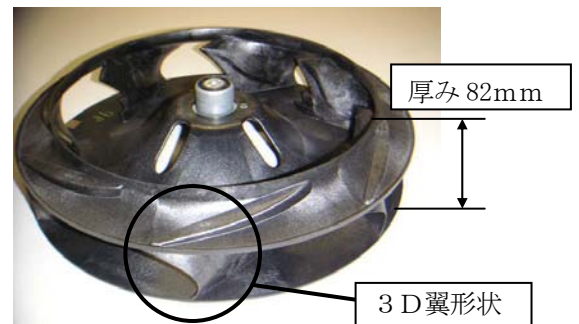
【吸込みおよび吹出しイメージ】



### (1) 3D翼形状薄型ターボファン

吸込み面積の少ないフラットパネルを採用するため、吸込み抵抗に強いターボファンを新搭載しました。

新設計の「3D翼形状薄型ターボファン」は、なめらかな3次元の翼形状の羽根に沿ってスムーズに風を送り出し、空気の乱れを小さく抑えることで、静かで高効率な運転を実現しました。



### (2) 細径管熱交換器

熱交換器の冷却管を、従来の直径7mmから6.35mmにすることにより、通風抵抗を約20%低減しました。また、熱交換器の面積も約16%アップすることにより、静音性と高い省エネ性を実現しました。

### (3) 立体エアフィルター

フラットパネルの場合、ターボファンの正面に配置された熱交換器に対して、パネルの周囲から吸い込んだ空気を吸込み口と熱交換器の間で90度曲げる必要があります。この際、熱交換器への空気の流れは均一になりづらく、ロスが生じます。この問題を解決するために、エアフィルターの形状を立体形状とし、吸込んだ空気を曲げる際のロスを低減することができました。



『うるるとさららフローア（VRシリーズ）』

●報道機関からのお問い合わせ先

ダイキン工業株式会社 広報部

【本 社】〒530-8323 大阪市北区中崎西二丁目4番12号（梅田センタービル）  
TEL (06)6373-4348（ダイヤルイン）

【東京支社】〒108-0075 東京都港区港南二丁目18番1号（JR品川イーストビル）  
TEL (03)6716-0112（ダイヤルイン）

●お客様からのお問い合わせ先

ダイキン工業株式会社

【コンタクトセンター（お客様ご相談窓口）】TEL (0120)88-1081 <http://www.daikincc.com>